

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年		単位	1
科目コード 980010	科目名 特別講義 I		授業期間	通年

担当教員(代表) : 早瀬千加子他担任	共同担当者 : 1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根
---------------------	---

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)
 ・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。
 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。

<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マーケトリサーチ (1コマ) 波多野 辰美 先生 2. トータルコーディネーションとは・・・ヘア・メイクについて (1コマ) 夏目 幸恵 先生 斎藤 房枝先生 3. コンピュータグラフィック・・・ポートフォリオ作成 (3コマ) 高崎 利々子 先生 4. マーチャングダイニング・・・(1コマ) 未定 5. ファッション業界について・・・アパレル業界の現状について (1コマ) 未定 6. 日本の装束・・・着物の一般知識・着装コーディネート・着付け (3コマ) 伊丹 宗友先生 7. 歌舞伎鑑賞オリエンテーション (1コマ) 窪寺 祐司 先生 8. ニッセンケン安全服・・・子供服 (1コマ) 滝口 順司・竹中 直 先生 吉村 とも子先生 9. 下着の知識・・・下着の歴史、役割、サイズ、取扱いについて (1コマ) 増田 亜紀子 先生 小林 知美先生 10. ニットデザインについて (1コマ) 未定 11. パタンナーについて (1コマ) 依田 聖彦 12. 学生生活について (2コマ) 野町 一成 先生

<p>評価方法・対象・比重 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する</p>

<p>主要教材図書 なし</p> <p>参考図書 なし</p> <p>その他資料 プリント他</p>
--

<p>授業の特徴と担当教員紹介 下着メーカーによる下着の知識の講義、品質評価センターによる安全服(子供服)の講義、企業での企画経験によるマーケティングの講義、企業の社長によるマーチャングダイニングの講義、ブランドデザイナーによるファッション業界の現状についてやデザインについての講義、着物デザイナーや舞台企画企業による日本の装束や歌舞伎の知識解説や着装実習、パタンナーによる企業におけるパターンの解説など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施</p>
--

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科名	ファッション工科基礎科1年	単位	1
科目コード	904510	科目名	キャリア開発Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬千加子他担任、 森 薫子、井浦 つくし	共同担当者：1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根 森、井浦
-----------------------------------	---

<p>【科目概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成のための講義と進級に関する講義で構成する。 (キャリアに関しては別紙参照) ・新しい環境の中で社会人と学生の違いを認識し、将来の進路を考えるきっかけを作る。また、コミュニケーション能力を高め、自分という存在について考え成長できる『人間力』の育成を目指す。 ・各自の適性を把握し、進路について考え将来の方向性を決める。
--

<p>【授業計画】</p> <p>キャリア開発Ⅰ 後期集中7コマ 別紙参照</p> <p>オリエンテーション2コマ 進級相談・上級教室見学5コマ</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>評価基準： 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>キャリア：プリント</p>
<p>参考図書</p> <p>なし</p>
<p>その他資料</p> <p>各種参考資料他</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>企業の人事部での経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施</p> <p>企業の社員研修企画・インストラクター実務担当等の経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施</p>

<p>記載者署名欄</p> <p>早瀬 千加子</p>

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12202	科名 アパレルデザイン科 2年		単位	1
科目コード 500200	科目名 デッサン		授業期間	前期

担当教員(代表)：牧かほり	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など
 ものを見る目を養う＝対象物を客観的に見つめ。基本構造(構成、動き、立体感、質感など)をとらえる。見たものをそのまま描ける力＝感覚神経と運動神経の連係プレーを鍛える。描く、という事によって自分のクリエイションに新たな視点を見つける。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

基礎形体を描写することにより、遠近法、光と影の関係、反射光の存在など基本的な「描き方」を学ぶ。
 「視る」ことに重点を置く、右脳描写方の実習。
 ノードクローキにて人物描写の体験
 静物・石膏デッサンで物と物との「関係」の描き方、「空間」の描き方を学ぶ。
 さらに、上手い絵、未熟な絵、魅力的な絵について考察し、今後の作品制作につなげる。

評価方法
 提出物/A, B, C, F

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 フリーランスのイラストレーターとして企業の広告、ディスプレイ製作の経験をもとに、基本的な「描き方」、物と物との「関係」の描き方、「空間」の描き方などを実習しながら習得する授業を実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12202	科名 アパレルデザイン科2年		単 位	1
科目コード 902000	科目名 西 洋 美 術 史		授業期間	後期

担当教員(代表) : 布施伊織	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 複雑な成立過程を孕むようになった近代の西洋美術作品を中心に解説。単純に美術作品を紹介するのではなく、なぜそれらの傑作が生まれたのか、芸術家がどういう意図で作品制作を行ったのかを考察することで、クリエイションの方法論を探り、デザイン発想の引き出しを増やすことにつなげる。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	美術史的アプローチ方法の解説、建築史概観	16	
2	新古典主義、新たに成立した風景画、ロマン主義の哲学	17	
3	芸術のメッセージ性。クールベ、マネなどを通じて	18	
4	芸術のメッセージ性。ウィリアム・モリス、ゲーテ色彩論	19	
5	芸術の純粋性とは。印象派、ポスト印象派を通じて	20	
6	変容した絵画概念。ゲシュタルト心理学などを通じて	21	
7	装飾概念の解説、キュビズムとフォービズム	22	
8	表現主義。ムンク、ドイツ表現主義など。映画も活用。	23	
9	素材、表現スタイルなど芸術の多様化。デュシャンなど	24	
10	現代美術の展開。バウハウス、ポロックなど	25	
11	ポストモダン。ウォーホルやバンクなど	26	
12	美術解釈の位相を解説。解釈を想定した創作について	27	
13	21世紀の芸術。ビジネスか作家の個性か	28	
14	実習	29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 毎回の簡易レポート
 最終回のデザイン発想実習

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル企業における商品企画等の経験をもとに、近代の西洋美術作品を中心に解説し、服飾デザイナーのクリエイションの方法論を探り、デザイン発想を引き出すことを目的とした授業を実施

記載者氏名

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 12202	科名 アパレルデザイン科2年	単位	1・1
科目コード 940105・940106	科目名 企業・学内研修a・b(選択)	授業期間	後期

担当教員(代表): 阿川 周子	共同担当者: 1組=阿川 2組=森本
-----------------	--------------------

教育目標・レベル設定など
 アパレル業界の現場・現状を把握させるために、アパレル企業で実際に研修を受けることで、学校教育で体験できない実学を学ぶ。
 就職希望者の企業研修期間中に平行して、企業研修に参加しない学生は学内研修を受講

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

企業研修内容
 企業の業務概要と、研修部門での業務について指導を受け、補助的な仕事に従事する。終了後、研修報告をプレゼンテーションにて発表する。

学内研修内容
 1、ピンワーク
 2、コミュニケーションと文化Ⅰ
 3、コミュニケーションと文化Ⅱ
 4、OEM
 5、グラフィックワークⅠ
 6、グラフィックワークⅡ
 7、ポートフォリオ作成
 8、リクルートカラー 自分色
 商品企画カラー戦略
 9、起業について
 10、デザイン画 ハンガーイラスト
 11、自由実習(民族服、グループ制作) 10コマ
 12、3.4限準備・発表 2コマ

計=36コマ

※企業研修・学内研修のどちらかを選択する

評価方法・対象・比重
 出欠、及び研修先からの報告書、各自の感想とプレゼンテーション

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介
 各企業でのインターンシップや企業やフリーランスで現在現場で働いている方々より、ピンワーク実技、OEMの講義、グラフィックワークやポートフォリオ制作実務、商品企画カラー戦略、生産管理概論など講義や実技実習を交えて授業を実施

記載者書名欄 阿川 周子

科コード 12202	科名 アパレルデザイン科2年	単位	1
科目コード 501900	科目名 色彩論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 天野豊久

共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

1年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、ファッションデザインに活用するための配色の技術、色彩計画の考え方を学習する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 導入	導入 色彩のはたらき	〈講義 1コマ〉
2. 概論	産業と色彩 産業における色彩の役割 流行色のしくみ	〈講義 2コマ〉
3. ファッションカラーコーディネーション	色相・トーンによる配色 ファッションカラーコーディネーション トーン・オン・トーン/フォ・カマイユ トーン・イン・トーン/コンプレックスハーモニー 基調色と配合色	〈講義および演習 4コマ〉
4. イメージと色彩	ファッションイメージと配色 色彩の心理的効果/色の連想・象徴 色彩によるイメージの表現	〈講義および演習 3コマ〉
5. 色彩計画	カラーデザイン① コンセプト、テーマの策定 カラーデザイン② イメージ構築、カラーパレットの展開 カラーデザイン③ カラーバリエーションの展開	〈講義および演習 5コマ〉

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座9『服飾デザイン』(文化服装学院編/文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

カラーコンサルティングの経験をもとに、ファッションデザインに活用するための配色の技術、色彩計画の考え方を実践的に指導

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科名	アパレルデザイン科	2年	単位	1
科目コード	500500	科目名	造形演習		授業期間	後期

担当教員(代表)：牧かほり

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

発想-表現-コミュニケーション 3つを連動させながらクリエイションの力をつける。
特に自分自身を見つめ、コンセプトをしっかりと組み立てる力を養う。制作の姿勢が社会や世界に向いていること。
発想力、(特にグラフィックにおける)表現力、伝える力(プレゼンテーションスキル)の強化を目指します。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

発想法、デザインの知識、プレゼンテーション方法などをそれぞれの課題の中で学んでゆく。

- ・ 伝わるポートフォリオの作り方
- ・ 伝わるデザイン
- ・ 紙立体からのデザイン発想
- ・ 粘土立体からのデザイン発想
- ・ コラージュによるストーリーの展開
- ・ ことばの演習 etc.

評価方法

提出物/A, B, C, F

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

フリーランスのイラストレーターとして企業の広告、ディスプレイ製作の経験をもとに、発想、表現、コミュニケーションの3つを連動させながらクリエイション力をつけ、実践的な発想力、表現力、伝える力を課題制作を行いながら習得する授業を実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科名	アパレルデザイン科2年	単位	1
科目コード	600210	科目名	ファッションビジネス論 I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 波多野 辰美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 ファッション業界に於いて業務推進に必要な知識を具体例を挙げながら、分かり易く説明をし業界人としての基本的な知識の習得を目指す。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションビジネスの基礎知識 (講義) コマ数=5

- ・オリエンテーション
- ・ファッションマーケットの現状と問題点
- ・生産体制
- ・マーケティング発想のデザインとは
- ・ブランド構築の方法論

テーマ ファッションビジネス演習 (講義、グループ演習) コマ数=8

既存のブランドをグループ毎に担当し、企業と同じ手順で企画を行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重
出席 10% 課題 40% 授業内課題 30% 授業理解度 20%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル企業における商品企画経験をもとに、営業等の経験により、ファッション業界におけるファッションビジネスの基本的知識をグループ演習を交えて習得する授業を実施

記載者書名欄

科コード 12202 科 名 アパレルデザイン科 2 学年 (1組、2組)

単 位 1

科目コード 904520 科目名 キャリア開発Ⅱ

授業期間 後期

担当教員(代表)：杉本 直鴻

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

・学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につけさせる

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 就職活動の進め方 (…講義1コマ)

企業の採用スケジュールとは、採用活動の後ろ倒しとその影響、就職活動の進め方

2. 言葉遣い (…講義+実習1コマ)

正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話

3. 電話・Eメール (…講義+実習=1コマ)

電話のマナー、Eメールのマナー

4. 会社訪問・店舗見学 (…講義1コマ)

会社訪問・店舗見学、OB・OG訪問、各注意点

5. 履歴書・エントリーシート(…講義+書き方実習=2コマ)

選考を通る履歴書・エントリーシートのポイント

6. 面接 (…講義+実習=2コマ)

コミュニケーションスキル向上と試験対策

7. グループディスカッション (…講義+実習=2コマ)

コミュニケーションスキル向上と試験対策

8. 作品プレゼンテーション (…講義+実習=2コマ)

プレゼンテーションスキル向上と試験対策

9. 内定から入社まで (…講義=1コマ)

内定の意味、誓約書、承諾書、内定式、入社前研修、労働法規の理解

全13コマ

評価方法・対象・比重

・出欠席、受講態度、実習(面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習)参画度

主要教材図書

「就職対策 第7版」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

人材教育コンサルタント、イメージコンサルタントとして活動経験をもとに、就職内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につける授業を実施

記載者署名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード	12202	科名	アパレルデザイン科2年	単位	2
科目コード	980020	科目名	特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表): 阿川 周子	共同担当者: 1組=阿川 2組=森本
-----------------	--------------------

教育目標・レベル設定など
 アパレル産業の現状、先輩の実体験からのアドバイス、そして服飾造形にかかわる知識として、レギュラー授業に加えたい内容の講義。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、舞台衣裳について・・・渡邊 礼子
- 2、コレクション情報・・・WWD
最新のトレンドについて
- 3、デザイナーの実務と必要条件・・・福山 正和
弥重 優人
- 4、表現の方法について・・・K O J I
- 5、古美術研修予備講話・・・村松 哲文
古美術について
- 6、航空自衛隊装備品の機能について・・・尾崎 博和
- 7、デザイナーの実務・・・宇津木えり
クリエイション活動
- 8、民族服について・・・未定
- 9、機能服について・・・佐古 かがり
- 10、帽子の基礎知識・・・窪田 恵美子 5コマ
- 11、生産管理概論・・・佐藤 明彦 5コマ
- 12、子供服について・・・瀧川 歩
- 13、皮革について・・・藤田 晃成 2コマ

評価方法・対象・比重

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介
 皮革企業担当者による皮革の種類・扱い方の解説、企業デザイナーによるスポーツウェアのディレクション、デザイナーによるデザイナーの実務、企業デザイナーによるアパレル商品企画など企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者書名欄 阿川 周子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科名 アパレルデザイン科3年		単 位	2 単位
科目コード 504000	科目名 グラフィックワーク		授業期間	(28)
担当教員(代表) : 佐谷 真樹		共同担当者 : 李		

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の
 図案作成などを学び、ビジュアル・プレゼンテーション (企画書) 製作を習得する。また、デザイン画を C.G で描く事、
 バッグやベルト等の小物アイテムを描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかり
 やすい見せ方」を習得する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、
 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	Tシャツイラストの簡単な作成でバスを理解	16	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	19	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
5	ディテールの作成=フリル・ペプラムの表現	20	スタイル画を描く=デザインを展開したイラスト
6	ディテールの作成=ブラシでの表現 (チェーンベルトなど)	21	スタイル画を描く=アイテムを展開したイラスト
7	ジャケット&ボトムを描く(フロント&バックスタイル)	22	スタイル画を描く=色や柄を展開したイラスト
8	ジャケット&ボトムを描く(フロント&バックスタイル)	23	デザイン企画書の制作
9	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	24	デザイン企画書の制作
10	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	25	デザイン企画書の制作
11	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	26	デザイン企画書の制作
12	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	27	デザイン企画書の制作
13	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	28	デザイン企画書の制作
14	ベルト、バックルを描く=金属の表現、レースアップ表現	29	
15	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	30	

評価方法・対象・比重

課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業での業務経験やデザイナー活動による経験をもとに、ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータおよびグラフィックソフトの使用能力を身につけ、プレゼンテーション能力の向上、衣服製品図・デジタルファッションがの実務能力習得を実習により実施

記載者氏名 佐谷真樹

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科名 アパレルデザイン科3年	単位	2単位
科目コード 504000	科目名 グラフィックワーク	授業期間	(28)

担当教員(代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の
 図案作成などを学び、ビジュアル・プレゼンテーション (企画書) 製作を習得する。また、デザイン画を C.G で描く事、
 バッグやベルト等の小物アイテムを描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかり
 やすい見せ方」を習得する

授業概要=テーマ (大・中・小)、方法 (講義・実習・実験・リサーチ・グループ活動など)、制作物、

テーマ: (大) C.Gを利用して表現するビジュアルなプレゼンテーション資料(企画書)の作成
 (中) イラストレーターによるイラスト・テキスタイル図案・小物デザインなどの作成
 (小) デザイン、企画展開のスピードアップ

授業内容: イラストレーターによるハンガーイラスト及デザイン画の作成
 イラストレーターによる柄の作成
 イラストレーターによるテキストデータの作成
 フォトショップによる先染め柄のシュミレーション
 イラストレーターを使って企画書を編集

授業方法: 生徒の前で実演する
 生徒に実習させ、個々の作業をサポートする
 学習用のデータを配布

制作物 : デジタル・ディレクションマップ及び企画書の作成

使用パソコン及びソフト: imac アドビ イラストレーターCC ・アドビ フォトショップCC

評価方法・対象・比重
 課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル企業での業務経験やデザイナー活動による経験をもとに、ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータおよびグラフィックソフトの使用能力を身につけ、プレゼンテーション能力の向上、衣服製品図・デジタルファッションがの実務能力習得を実習により実施

記載者氏名 佐谷眞樹

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 12203	科名 アパレルデザイン科3年	★	単 位	1
科目コード` 300900	科目名 アクセサリー		授業期間	後期

担当教員(代表) : 中川 清美	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー
 参考作品の素材説明とアイデア提案
 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明
2. アートアクセサリー制作実習
 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞
3. アートアクセサリー制作実習
 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて
4. アートアクセサリー製作実習
 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて
5. アートアクセサリー製作実習 仕上げ
6. シルバー粘土について、特性・扱い方の説明
 制作実習
7. シルバー粘土リング制作実習
 作品について仕上げ・説明

評価方法・対象・比重
 作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%

主要教材図書
 参考図書
 その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 イラストレーター、アクセサリー作家の経験をもとに、服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリーの制作を行いながら実践的に実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科名	アパレルデザイン科3年	★	単位	1
科目コード	902800	科目名	美学		授業期間	後期

担当教員(代表) :	小林 大輔 Die-co★(ダイコ★)	共同担当者 :	
------------	---------------------	---------	--

教育目標・レベル設定など
 西洋美術の歴史を学びながら、実際のデザイナー達がどのようにアートにインスパイアされてコレクションをクリエイトしているかを、実例をあげながら学んでいきます。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

毎回の授業でPCを使用して解り易い解説をし、その時代の気分を強く表現したアーティストのプロモーションビデオや映画等の紹介も含め、美術に対する関心をより深め、西洋美術の流れを学ぶ授業を目指します。

- 1、 オリエンテーション
- 2、 古代文明の誕生
- 3、 エジプトからギリシャ
- 4、 古代ローマ
- 5、 中世美術
- 6、 ルネサンス
- 7、 バロック
- 8、 ロココ
- 9、 新古典主義
- 10、 印象派
- 11、 世紀末の美術
- 12、 アール・ヌーボー
- 13、 20世紀初頭の美術
- 14、 アール・デコ、現代美術

評価方法・対象・比重
 出・欠席、作品、全コマ数終了時に各、数分間の時間でプレゼンテーションを行い評価。

主要教材図書
 参考図書
 その他資料
 ファッション情報誌、映像資料、スライド

授業の特徴と担当教員紹介
 スタイリスト、デザイナー、アートディレクターの経験をもとに、西洋美術の歴史を学びながら、実際のデザイナーたちが、どのようにアートにインスパイアされてコレクションをクリエイトしているかを実例を挙げながら授業を実施

記載者書名欄 小林 大輔 Die-co★(ダイコ★)

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科名	アパレルデザイン科3年	単位	1
科目コード	600900	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表) : 波多野 辰美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 アパレル業界に於けるマーケティング業務の実務を講義と演習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションマーケティングの概要 (講義) コマ数=5

アパレルのマーケティングに必要な理論と方法を解説する

- ・マーケティング業務オリエンテーション
- ・ブランドとは、その定義
- ・VMDの必要性とSKU算出法の解説と実践
- ・カセット企画とは
- ・MDマップの意味と作成方法

テーマ ファッションマーケティングの実践 (講義、グループ演習) コマ数=8

マーケットで「売るため」のブランド立上げのシミュレーション

各グループでオリジナルブランドの立上げを企業と同様の手順で行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・販路設定
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

出席 10% 課題 40% 授業内課題 30% 授業理解度 20%

主要教材図書

レジュメ使用

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業における商品企画経験をもとにアパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科名 アパレルデザイン科3年		単 位	2 単位
科目コード 504000	科目名 グラフィックワーク		授業期間	(28)
担当教員(代表) : 佐谷 眞樹		共同担当者 : 李		

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の
 図案作成などを学び、ビジュアル・プレゼンテーション (企画書) 製作を習得する。また、デザイン画を C.G で描く事、
 バッグやベルト等の小物アイテムを描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかり
 やすい見せ方」を習得する

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、
 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	Tシャツイラストの簡単な作成でバスを理解	16	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	19	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
5	ディテールの作成=フリル・ペプラムの表現	20	スタイル画を描く=デザインを展開したイラスト
6	ディテールの作成=ブラシでの表現 (チェーンベルトなど)	21	スタイル画を描く=アイテムを展開したイラスト
7	ジャケット&ボトムを描く(フロント&バックスタイル)	22	スタイル画を描く=色や柄を展開したイラスト
8	ジャケット&ボトムを描く(フロント&バックスタイル)	23	デザイン企画書の制作
9	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	24	デザイン企画書の制作
10	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	25	デザイン企画書の制作
11	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	26	デザイン企画書の制作
12	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	27	デザイン企画書の制作
13	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	28	デザイン企画書の制作
14	ベルト、バックルを描く=金属の表現、レースアップ表現	29	
15	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	30	

評価方法・対象・比重
 課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
 参考図書 なし
 その他資料 製作手順のデータを配布

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル企業での業務経験やデザイナー活動による経験をもとに、ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータおよびグラフィックソフトの使用能力を身につけ、プレゼンテーション能力の向上、衣服製品図・デジタルファッションがの実務能力習得を実習により実施

記載者氏名 佐谷眞樹

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科名 アパレルデザイン科3年	単位	2単位
科目コード 504000	科目名 グラフィックワーク	授業期間	(28)

担当教員(代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の
 図案作成などを学び、ビジュアル・プレゼンテーション (企画書) 製作を習得する。また、デザイン画を C.G で描く事、
 バッグやベルト等の小物アイテムを描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかり
 やすい見せ方」を習得する

授業概要=テーマ (大・中・小)、方法 (講義・実習・実験・リサーチ・グループ活動など)、制作物、

テーマ: (大) C.Gを利用して表現するビジュアルなプレゼンテーション資料(企画書)の作成
 (中) イラストレーターによるイラスト・テキスタイル図案・小物デザインなどの作成
 (小) デザイン、企画展開のスピードアップ

授業内容: イラストレーターによるハンガーイラスト及デザイン画の作成
 イラストレーターによる柄の作成
 イラストレーターによるテキストデータの作成
 フォトショップによる先染め柄のシュミレーション
 イラストレーターを使って企画書を編集

授業方法: 生徒の前で実演する
 生徒に実習させ、個々の作業をサポートする
 学習用のデータを配布

制作物 : デジタル・ディレクションマップ及び企画書の作成

使用パソコン及びソフト: imac アドビ イラストレーターCC ・アドビ フォトショップCC

評価方法・対象・比重
 課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル企業での業務経験やデザイナー活動による経験をもとに、ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータおよびグラフィックソフトの使用能力を身につけ、プレゼンテーション能力の向上、衣服製品図・デジタルファッションがの実務能力習得を実習により実施

記載者氏名 佐谷眞樹

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 12203	科名 アパレルデザイン科3年	★	単 位	1
科目コード` 300900	科目名 アクセサリー		授業期間	後期

担当教員(代表) : 中川 清美	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー
 参考作品の素材説明とアイデア提案
 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明
2. アートアクセサリー制作実習
 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞
3. アートアクセサリー制作実習
 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて
4. アートアクセサリー製作実習
 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて
5. アートアクセサリー製作実習 仕上げ
6. シルバー粘土について、特性・扱い方の説明
 制作実習
7. シルバー粘土リング制作実習
 作品について仕上げ・説明

評価方法・対象・比重
 作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%

主要教材図書
 参考図書
 その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 イラストレーター、アクセサリー作家の経験をもとに、服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリーの制作を行いながら実践的に実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科名	アパレルデザイン科3年	単位	1
科目コード	903200	科目名	プレゼンテーション論・演習	授業期間	前期

担当教員(代表) :	小林 大輔 Die-co★(ダイコ★)	共同担当者 :	
------------	---------------------	---------	--

教育目標・レベル設定など

これからのデザイナーにもっとも必要で、且つ日本でファッションを学ぶ学生達が一番欠けているコミュニケーション能力を高める事を目指す授業です。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

最終授業時にそれぞれ決められた数分の時間でプレゼンテーションを行い、その実為の準備に、プレゼンテーションに合わせた新作の作品制作や作品の撮影、プレゼンテーションの為にコンセプトリサーチや資料制作等の実習と、各学生の掘り下げたいプレゼンテーションのネタや実習事項を聞き出し、カウンセリングを含めながら授業を進めていきます。

作品撮りやプレゼンテーションの構成、発表のテクニックのアドバイス。

評価方法・対象・比重

出・欠席、作品、全コマ数終了時に各、数分間の時間でプレゼンテーションを行い評価。

主要教材図書

参考図書

その他資料

映像資料、スライド

授業の特徴と担当教員紹介

スタイリスト、デザイナー、アートディレクターの経験をもとに、デザイナーにとって最も必要であるプレゼンテーション能力を実際のプレゼンテーション資料作成を実習しながら授業を実施

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科名	アパレルデザイン科3年	★	単位	1
科目コード	902800	科目名	美学		授業期間	後期

担当教員(代表) :	小林 大輔 Die-co★(ダイコ★)	共同担当者 :	
------------	---------------------	---------	--

教育目標・レベル設定など
 西洋美術の歴史を学びながら、実際のデザイナー達がどのようにアートにインスパイアされてコレクションをクリエイトしているかを、実例をあげながら学んでいきます。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

毎回の授業でPCを使用して解り易い解説をし、その時代の気分を強く表現したアーティストのプロモーションビデオや映画等の紹介も含め、美術に対する関心をより深め、西洋美術の流れを学ぶ授業を目指します。

- 15、オリエンテーション
- 16、古代文明の誕生
- 17、エジプトからギリシャ
- 18、古代ローマ
- 19、中世美術
- 20、ルネサンス
- 21、バロック
- 22、ロココ
- 23、新古典主義
- 24、印象派
- 25、世紀末の美術
- 26、アール・ヌーボー
- 27、20世紀初頭の美術
- 28、アール・デコ、現代美術

評価方法・対象・比重
 出・欠席、作品、全コマ数終了時に各、数分間の時間でプレゼンテーションを行い評価。

主要教材図書
 参考図書
 その他資料
 ファッション情報誌、映像資料、スライド

授業の特徴と担当教員紹介
 スタイリスト、デザイナー、アートディレクターの経験をもとに、西洋美術の歴史を学びながら、実際のデザイナーたちが、どのようにアートにインスパイアされてコレクションをクリエイトしているかを実例を挙げながら授業を実施

記載者書名欄 小林 大輔 Die-co★(ダイコ★)

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科名	アパレルデザイン科3年	単位	1
科目コード	600900	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表) : 波多野 辰美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 アパレル業界に於けるマーケティング業務の実務を講義と演習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションマーケティングの概要 (講義) コマ数=5

アパレルのマーケティングに必要な理論と方法を解説する

- ・マーケティング業務オリエンテーション
- ・ブランドとは、その定義
- ・VMDの必要性とSKU算出法の解説と実践
- ・カセット企画とは
- ・MDマップの意味と作成方法

テーマ ファッションマーケティングの実践 (講義、グループ演習) コマ数=8

マーケットで「売るため」のブランド立上げのシミュレーション

各グループでオリジナルブランドの立上げを企業と同様の手順で行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・販路設定
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

出席 10% 課題 40% 授業内課題 30% 授業理解度 20%

主要教材図書

レジュメ使用

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業における商品企画経験をもとにアパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科名	アパレルデザイン科3年	単位	1
科目コード	903200	科目名	プレゼンテーション論・演習	授業期間	前期

担当教員(代表):	小林 大輔 Die-co★(ダイコ★)	共同担当者:	
-----------	---------------------	--------	--

教育目標・レベル設定など

これからのデザイナーにもっとも必要で、且つ日本でファッションを学ぶ学生達が一番欠けているコミュニケーション能力を高める事を目指す授業です。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

最終授業時にそれぞれ決められた数分の時間でプレゼンテーションを行い、その実為の準備に、プレゼンテーションに合わせた新作の作品制作や作品の撮影、プレゼンテーションの為にコンセプトリサーチや資料制作等の実習と、各学生の掘り下げたいプレゼンテーションのネタや実習事項を聞き出し、カウンセリングを含めながら授業を進めていきます。

作品撮りやプレゼンテーションの構成、発表のテクニックのアドバイス。

評価方法・対象・比重

出・欠席、作品、全コマ数終了時に各、数分間の時間でプレゼンテーションを行い評価。

主要教材図書

参考図書

その他資料

映像資料、スライド

授業の特徴と担当教員紹介

スタイリスト、デザイナー、アートディレクターの経験をもとに、デザイナーにとって最も必要であるプレゼンテーション能力を実際のプレゼンテーション資料作成を実習しながら授業を実施

科コード 12203	科名 アパレルデザイン科3年	単 位	2
科目コード 980030	科目名 特別講義Ⅲ	授業期 間	通年

担当教員(代表)： 朴澤 明子	共同担当者： 安井 涼子
-----------------	--------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アパレル業界で活躍している講師を招聘し、実社会の動向、現状、情報、未来への展望や、様々な関わりに対処する為の考え方、アドバイスを経験者の生の声で語り、社会に目を向け、自己を見つめ直す機会として参考にする。</p>

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、デジタルプリント・デモンストレーション・・・飯塚 有葉 2、デザイナーの仕事・・・森 崇 3、デザイナーの仕事・・・Robes&Confection 土屋 郷 4、インナーウェアについて・水着の基礎知識・・・株式会社ワコール 稲葉 沙耶花 5、水着の知識・・・株式会社A i 伊藤 友里 6、イッセイ ミヤケの世界：デザイナーの仕事・・・イッセイ ミヤケ デザイナー 宮前 義之 7、デザイナーの仕事・・・5-knot デザイナー 西野 岳人・鬼澤 瑛菜 8、ファッションビジネスを通してデザインを考える・・・BFGU 山岡 真理 9、デザイナーの実務・・・佐谷 眞樹 10、カットソー作品制作実習・・・小野莫大小工業有限会社 杉原 淳史 11、ポートフォリオ作成スキル・・・BFGU 吉田 康成 12、毛皮の一般知識・・・Fur nakamura デザイナー 梨本 チエ子 13、ファッションとアート・・・マゴクリエーション株式会社 MAGO(長坂 真護) 14、オペラ鑑賞：予備講話・・・上木 幸夫 15、生産管理について・・・寺田 典夫 16、ビジネスにおける販売の大切さ・・・高垣 道夫 17、スポーツウェアについて・・・講師未定 18、舞台衣装について・・・野田 晶

<p>評価方法・対象・比重 … P表示 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する 出欠、感想文、</p>

<p>主要教材図書</p> <p>その他資料</p> <p>コレクション作品と参考資料作品、プリント資料、映像資料、スライド</p>
--

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>デザイナーによるデザイナーの実務について講義、下着メーカーによるインナーウェア・水着の講義、水着メーカーによる水着の知識講義、ブランドデザイナーによるブランド講義、カットソーメーカーデザイナーによる作品制作実習、元毛皮メーカースタッフによる毛皮の一般知識講義、クリエーターデザイナーによるファッションとアートの講義、企業で生産管理を担当していたデザイナーによる講義、セレクトショップ役員によるビジネスによる販売の講義など企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施</p>

<p>記載者書名欄 朴澤 明子</p>

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 12203	科名 アパレルデザイン科3年	単位	2
科目コード 980030	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 朴澤 明子	共同担当者： 安井 涼子
-----------------	--------------

教育目標・レベル設定など
 アパレル業界で活躍している講師を招聘し、実社会の動向、現状、情報、未来への展望や、様々な関わりに対処する為の考え方、アドバイスを経験者の生の声で語って頂き、社会に目を向け、自己を見つめ直す機会として参考にする。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、
 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、デジタルプリント・デモンストレーション・・・飯塚 有葉
- 2、デザイナーの仕事・・・森 崇
- 3、デザイナーの仕事・・・Robes&Confection 土屋 郷
- 4、インナーウェアについて・水着の基礎知識・・・株式会社ワコール 稲葉 沙耶花
- 5、水着の知識・・・株式会社Ai 伊藤 友里
- 6、イッセイ ミヤケの世界：デザイナーの仕事・・・イッセイ ミヤケ デザイナー 宮前 義之
- 7、デザイナーの仕事・・・5-knot デザイナー 西野 岳人・鬼澤 瑛菜
- 8、ファッションビジネスを通してデザインを考える・・・BFGU 山岡 真理
- 9、デザイナーの実務・・・佐谷 眞樹
- 10、カットソー作品制作実習・・・小野莫大小工業有限公司 杉原 淳史
- 11、ポートフォリオ作成スキル・・・BFGU 吉田 康成
- 12、毛皮の一般知識・・・Fur nakamura デザイナー 梨本 チエ子
- 13、ファッションとアート・・・マゴクリエーション株式会社 MAGO(長坂 真護)
- 14、オペラ鑑賞：予備講話・・・上木 幸夫
- 15、生産管理について・・・寺田 典夫
- 16、ビジネスにおける販売の大切さ・・・高垣 道夫
- 17、スポーツウェアについて・・・講師未定
- 18、舞台衣装について・・・野田 晶

評価方法・対象・比重 … P表示 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する
 出欠、感想文、

主要教材図書
 その他資料
 コレクション作品と参考資料作品、プリント資料、映像資料、スライド

授業の特徴と担当教員紹介
 デザイナーによるデザイナーの実務について講義、下着メーカーによるインナーウェア・水着の講義、水着メーカーによる水着の知識講義、ブランドデザイナーによるブランド講義、カットソーメーカーデザイナーによる作品制作実習、元毛皮メーカースタッフによる毛皮の一般知識講義、クリエイティブデザイナーによるファッションとアートの講義、企業で生産管理を担当していたデザイナーによる講義、セレクトショップ役員によるビジネスによる販売の講義など企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者書名欄 朴澤 明子